

第5回写真・動画コンテスト部会 議事録

開催日時	令和元年10月23日(水) 19:00~20:00
開催場所	知立市役所現業棟 第10会議室
出席者	11名/11名
欠席者	0名/11名
事務局	企画政策課長補佐 政策係担当

1. 実施案について

事務局より、前回の会議を受けて一覧表を修正した点について説明。その後、次第に沿って各部門の検討事項について協議した。各検討事項についての決定事項等は下記のとおり。

【審査方法について（選出方法、ちりゅっぴ賞）】

- ・応募数が多い場合、写真は審査員が見れるが、動画は厳しい。したがって、応募数が多い場合、まず部会で審査して審査依頼数を絞り込んだ後、審査員に審査をお願いする二段階審査を採用する。
- ・審査員の選んだ作品が、他の審査員の選んだ作品と重複することを避けるため、持ち点5点刻みのポイント制にする。それでも同点で重複してしまった場合に備え、内部順位等の内規をあらかじめ部会で決めておく。
- ・知立市&ちりゅっぴPR部長の北川綾巴さんに審査員をお願いできた場合、ちりゅっぴ賞はなしにして、(仮)知立市&ちりゅっぴPR部長賞とする。

【募集期間、審査時期について】

- ・募集期間は、部会による一次審査及び審査員に依頼する期間を考慮し、令和2年7月1日~令和2年9月10日(木)(消印有効)とする。×切は厳守。
- ・9月中に部会による一次審査を行い、10月上旬に審査員に審査を依頼する。

【紙ベース部門の展示方法について（貼ってはがせるシールの取扱い、スペース）】

- ・パティオによると、貼ってはがせるシールを使って展示してもよいが、一度本当に汚れがつかないかテストをしてほしいとのこと。→事務局でテストする。
- ・展示スペースについては、①違う大きさの写真を詰めて展示していく形式と、②均等に仕切って展示していく形式が挙げられた。→①を採用。
- ・台紙はできたら付けた方がいいと意見が出たが、応募数を踏まえて台紙に貼るかどうか決定することとする。

【電子データ部門の展示方法について】

- ・当初案では紙ベースに印刷することになっているが、電子データ時と印刷後のイメージとの相違リスクを避けるため、電子データのまま写すことのできる方法を検討することとする。したがって、電子データ部門の展示は、電子データで行う。

【動画部門のTikTokについて】

・TikTokを使った作品を動画コンテストに追加する場合におけるBGMの著作権リスクについて、事務局より共有。TikTokから公式に配信されているBGMは問題なし。→実際にTikTokを使っている人にBGMの限定等について参考意見を得ることとする。この件については継続的に研究することとする。

【紙ベース部門の応募所について】

・応募所をスーパー等に設置依頼し置いてもらえたとしても、盗難等のリスクを負わせることはできない。そのため、応募所は行わず、市役所、中央公民館、パティオ、福祉体育館、図書館といった公的な施設で応募を受け付けることとする。

・幼稚園等に単発で作品を集めてもらうのはどうかという意見が出たが、実際に依頼するかどうかは継続的に研究することとする（実際の応募総数等を鑑みて判断）。

・小学校・中学校・幼稚園・保育園の先生を通じ、コンテストのチラシを配布してもらう。令和2年6月末から複数回配布を依頼する。

【インスタ開設について（事前PR）】

・コンテストの事前PRのために、早期にインスタアカウントを開設することに、委員一同了承。
→PR部会と調整する。

・事前PRの素材として、キャンドルを使って撮影するのはどうかという意見あり。部会の予算は来年度の執行を想定されているため、今年度の予算確保については事務局で確認することとする。

・令和2年1月12日の消防出初式時に、市役所北駐車場で「50」の人文字を作って、屋上より撮影する。団員は総計172名、内100人前後は集まる予定とのこと。

→当日の仕切りと撮影は部会主導で行う。

2. 次回までの課題

- ・電子データの展示方法について、アイデアがあれば持ち寄る。
- ・TikTokのコンテスト導入について、研究する。
- ・「50」の人文字の配置図について、持ち寄る。
- ・屋上からの写真を事務局立ち合いで、撮影する。
- ・事務局で一覧表の修正及びキャンドルの予算について確認。
- ・応募者を増やす策を各自検討する。

3. 次回開催日

- ・次回は、11月26日（火）19：00から第9会議室で開催する。